

あつぎ市議会だより

第244号 発行日/2019年5月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

2月定例会議

平成31年度予算など41議案を可決

市長などの反問する行為を認めるため、

議会基本条例の一部を改正

2月定例会議は、3月4日から26日までの会議期間23日間で開かれました。

市長から初日・第2日に提出された議案は、市道路線の廃止・認定や平成30年度一般会計・特別会計・病院事業会計補正予算のほか、条例の制定・改正、平成31年度一般会計・特別会計・病院事業会計予算、公平委員会委員の選任の35議案です。このうち、「公平委員会委員の選任について」を除く34議案は、質疑終了後、所管の常任委員会に付託されました。

第3日から第5日までの3日間、議員19人が登壇し、一般質問が行われました。

第5日には、市長から平成30年度一般会計補正予算や平成31年度一般会計補正予算のほか、副市長の選任、教育委員会委員の任命、監査委員の選

任の5議案が追加提出され、このうち、一般会計補正予算の2議案は、質疑終了後、所管の常任委員会に付託されました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された案件に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、各常任委員長から審査結果が報告され、5会派による討論の後、採決の結果、委員会に付託された全議案を可決しました。その後、「公平委員会委員の選任について」「副市長の選任について」「教育委員会委員の任命について」「監査委員の選任について」に対する質疑が行われ、採決の結果、いずれも同意しました。

さらに、議員から「厚木市議会基本条例の一部を改正する条例について」の議案1件が追加提出され、可決しました。



早春の厚木路で健脚を競った「第33回あつぎマラソン」

市道の廃止・認定

可決した市道路線の廃止・認定議案は13件です。

内容は、道路新設改良地内の1路線を廃止し、新たに1路線を認定、小野字赤坂地内から小野字中曾根地内までの3路線を廃止し、新たに3路線を認定するほか、下荻野字新宿地内、飯山字上根岸地内、戸室五丁目地内のそれぞれ1路線を新たに認定するものです。このほか、宅地分譲のための開発行為に伴い、上依

補正予算①

可決した補正予算議案は、一般会計・5つの特別会計・病院事業会計の

7件です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、地域密着型特別養護老人ホームの整備に係る経費の一部を助成するため、特別養護老人ホーム建設事業補助金の措置や、予防接種法施行令の一部改正に伴い、平成31年2月1日から風疹ワクチンの定期予防接種を受ける機会がなかった男性が、定期予防接種の対象に追加されたため、国の補正予算を活用して、定期予防接種事業費（その2）を措置するほか、

国の補正予算を活用し、国土調査を前倒しして実施するため、国土調査事業費（その2）を措置するものです。このほかにも、補助金などの活用や執行状況などを勘案し、所要の増減を行うものです。各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額（カッコ内）は次のとおりです。

- ◇一般会計 92億8千911万9千円（42億3千427万5千円増）
- ◇公共用地取得事業特別会計 11億5千517万1千円（470万円減）
- ◇後期高齢者医療事業特別会計 27億4千538万7千円（77万5千円減）
- ◇国民健康保険事業特別会計 23億7千800万2千円（1億3千274万6千円減）
- ◇介護保険事業特別会計 14億2千604万8千円（6億3千79万1千円増）
- ◇公共下水道事業特別会計 71億6千973万9千円（2億1千995万6千円増）
- ◇病院事業会計 収益的収入予定額10億8千910万9千5百円、収益的支出予定額11億3千930万8千5百円（1億5千73万1千円増）、資本的収入予定額10億8千616万5千円（544万2千円増）

条例の制定

可決した条例の制定議案は1件です。

「厚木市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例」は、生産緑地法の一部改正に伴い、生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定めるため、制定するものです。

公平委員の選任に同意

公平委員会委員3人のうち、立川正雄氏（横浜市）の任期満了に伴い、引き続き同氏の選任についての議案が市長から提

出され、賛成全員で同意しました。

副市長の選任に同意

副市長2人のうち、霜島宏美氏（林）の任期満了に伴い、引き続き同氏の選任についての議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

教育委員の任命に同意

教育委員会委員の辞職に伴う後任委員として、杉山繁雄氏（戸室）の任命についての議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

監査委員の選任に同意

監査委員の任期満了に伴う後任委員として、石井勝氏（戸室）の選任についての議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

2面下段に続く

主な内容

- ◆一般質問 2～5 面
- ◆広報広聴特別委員会 3 面
- ◆委員会の審査 6・7 面
- ◆本会議の審議結果 8 面
- ◆議会基本条例の一部改正 8 面



今定例会議では、19人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

新庁舎建設の現在までの検討経過は

あつぎみらい 高橋 豊議員



問 検討経過と中町第2・2地区に整備予定の複合施設の基本計画の進捗状況は。

答 市長 厚木市庁舎建設等検討委員会をはじめ、アンケート調査、意見交換会の実施、また議会からの要望書など、多くのさまざまな立場の方からのご意見を伺った上で、昨年9月に厚木市新庁舎整備基本構想を策定した。現在は、厚木市複合施設等整備検討委員会を設置し、庁舎だけでなく、図書館や(仮称)こども未来館を含めた複合施設の見直しを提案する。

●多死社会への対応

問 今後の対応は。

答 市長 市民の皆さまに寄り添いながら、新たな課題への対応にも配慮していく。また、地域包括ケア社会の実現に向けて取り組んでいく。

●起業者への支援

問 現状と今後は。

答 市長 あつぎ起業家スクールの開催、創業者支援利子補給金の交付など、さらには、情報交換やセミナーを実施するなど、さらに支援を充実させていく。

運動公園運動施設の年間パスポートの検討は

無党派 高田 浩議員



問 健康増進と医療費抑制のため、厚木市内のスポーツ施設の宣伝と使用料の見直しを提案する。荻野運動公園運動施設などの年間パスポートを検討してはどうか。

答 都市整備部長 スポーツ施設の利用促進として、年間パスポートについては、他部署とも調整し、研究していきたい。

●一般廃棄物処理事業経費の実績報告

問 神奈川県ホームページに掲載している「平成28年度神奈川県一般廃棄物処理事業の概要」において、一般廃棄物処理費の一般会計決算額に占める割合は2・9%とされ、川崎市と並んで県内1位である。しかし、その1年前の平成27年度は4・2%であり、15位であった。なぜ突如として1位になったのか。

答 環境施設担当部長 県に報告した統計数値に誤りがあったためである。訂正に向けて神奈川県と調整をしている。

感謝と恩返し行政運営は

あつぎの会 井上 敏夫議員



問 職員は市民全体の利益のために奉仕する気持ちで、日々、仕事に携わっていると理解している。そこで、要望行政から計画行政へ転換すべきであると考えるが。

答 政策部長 計画的な行政運営はまちづくりを着実に実行するため必要であるとして十分認識して、市内での起業の促進を図るとともに、事業継続のため、中小企業診断士などによる巡回訪問相談を実施している。今後は、情報交換やセミナーを実施するなど、さらに支援を充実させていく。

●市街地整備事業の技術的援助

問 森の里東土地区画整理事業および本厚木駅南口地区市街地再開発事業では、人員など現状の組織体制で技術的援助、指導が十分にできるのか。例えば、市街地整備事業の技術的援助を全て引き受ける公益財団法人の設立も必要ではないか。

答 市街地整備担当部長 今後の人口減少社会

データ活用の取り組み

問 自治体はデータの宝庫だが、オープンデータとして生かしている自治体はまだ多くある。市内の企業や大学などに呼びかけてデータを活用する方法はあるが、いかがか。

答 政策部長 品質向上の視点として人員や体制、職員の能力も踏まえ、職員の統計データに対する知識を深めるため、市内の企業や大学など関係機関との連携も考えていきたい。

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は6件です。

「厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例」および「厚木市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例」の主な改正内容は、本市の財政状況などを踏まえ、常勤特別職職員の給料の額を減額するため、改正するものです。

「厚木市職員の給与に関する条例」の主な改正内容は、本市の財政状況などを踏まえ、職員給与の減額措置を継続するため、改正するものです。

「厚木市市税条例」の主な改正内容は、国民健康保険の被保険者としていない者の規定を設けるほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

「厚木市建築基準条例」の主な改正内容は、建築基準法などの一部改正に伴い、小規模な木造建築物などであるホテル、または、旅館の外壁などに係る防火の規定を削除するほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

平成31年度予算

一般会計は863億円、対前年度比0・1%の増額となりました。また、特別会計と公営企業会計を合わせた予算総額は1465億8368万4千円、平成30年度当初予算と比較して0・4%の減額になりました。

補正予算②

追加提出され、可決した補正予算議案は、平成30年度および31年度の一般会計です。

平成30年度一般会計補正の主な歳出の内容は、ふるさと納税寄付金が想定以上に増加したため、財政調整基金積立金(ふるさと納税等分)を増額するほか、国庫補助金を活用し、外国人の受け入れ環境を整備するため、市民相談事業費(その2)の措置や、トイレ改修などを実施するため、小学校および中学校校舎・体育館改修事業費(長寿命化)(その2)の措置などを講ずるものです。

議員提出議案

可決した議員提出議案は、「厚木市議会基本条例」の一部改正の1件です。

主な改正内容は、本会議および委員会における議論の質をより高めることを目的に、反問する行為を認めることを定めるほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

会議録の閲覧を!

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができたまでの間は、インターネットで継(録画放映)もご覧いただけます。



あつぎの会

あつぎの会

あつぎの会

あつぎの会

あつぎの会

あつぎの会

あつぎの会

主要農作物種子法の廃止への対応は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 昨年、主要農作物種子法が廃止された。日本の稲・麦・大豆の種と食を守るため、同法と同様の規定を設けた条例が必要と思うがどうか。

答 市長 本市としては、市町村単独で種子の品質管理に関する条例を定める必要はないと考え

厚木中央公園の整備

問 憩いの広場を暫定整備することだが、その内容は。

答 都市整備部長 噴水球の撤去および池の埋め立てを行い、埋め立て

厚木市長の在任の期数に関する条例への認識は

日本共産党 釘丸 久子議員



問 条例は4選したことで意味をなさなくなつた。早急に廃止すべきと思うが見解は。

答 市長 条例は清新で活力ある市政運営を目的としたもので、条例に息づく精神は市政運営のよりどころである。今後は、多くの市民や議員の皆さまにご意見をいただき検討していきたい。新たに市長になる方に影響がない方法を取っていくのが、私の役目だとも考えている。

問 国や県と一体整備の話もあるが、どこまで進んでいるか。

答 市街地整備担当部長 具体的な機関は明確になっていないが、基本計画の中で方向性が示せるよう協議を進める。

問 建設費の総額が明らかになるのはいつの時点か。

答 市街地整備担当部長 施設規模の検討中で、いつ決まるか申し上げられない状況である。複合化のメリットについて、建設費や運営コストなどの削減効果を基本計画に示していきたい。

新庁舎建設

問 基本計画はいつごろ策定されるのか。

答 市街地整備担当部長 平成31年度前半に策定していきたい。基本計画では新たに追加し強化する部分を検討することとしており、狭隘化の解消やバリアフリーの導

た表面をコンクリートで仕上げる。暫定的に多目的広場として活用できるように整備を行う。

問 暫定整備後の計画は、常設ステージを造つてはどうか。

答 都市整備部長 具体的な整備時期について明確にお示しできないが、公園全体のリニューアル計画をする際に、地域の方々と公園利用者の皆さまのご意見を伺いながら検討していきたい。

一時預かり保育のニーズについて現状と課題は

あつぎの会 山本 智子議員



問 今後の一時預かりのニーズは、私的な理由が主流になると考えるが、方向性について見解は。

答 こども未来部長 保護者のリフレッシュやレスパイトの必要性は認識しており、全国でも先進的な、商業施設への託児室わたぐもの設置など取り組みを進めている。今後子育て中の方が安心してほつとできる時間の確保を続けていきたい。

問 香りという言葉には良いイメージがあるが、そこに含まれる有害物質で体調を崩したり、化学物質過敏症につながることを、香りという言葉を使い周知できないか。

答 環境農政部長 環境法令に基づく臭気規制の対象外だが、現状を踏まえ、市ホームページで

国民健康保険事業

問 保険料のうち、子ども分の均等割の減免を

してはどうか。

答 市民健康部長 全国知事会、全国市長会を通じて、国に要望を再三提出している。首相は均等割の在り方について、国と地方の協議の場引き続き議論する考えを示しており、今後も国の動向を注視していく。

改元時の10連休に向けての対応は

公明党 川口 仁議員



問 市内医療機関および市の態勢や連携は。

答 市長 救急医療は、休日夜間急患診療所と輪番制病院の対応を整えており、厚木病院協会には医療提供体制を要請している。一般診療所などの態勢は、医師会などと密に連携し情報を集約して市民の皆さまに周知する。

問 改元時に多くの婚姻届などが出されると思うが対応は。また、記念日への工夫の検討は。

答 市民健康部長 混雑時に対応できる態勢は整える。記念日への対応は、十分によく考えたい。

問 被災者支援システムの導入年度や具体的なスケジュールは。

答 市長室長 情報化推進計画では、平成31年度に具体的に検討し、2

公民館の再整備についての考えは

新政あつぎ 田口 孝男議員



問 陸合南公民館の再整備について、次期総合計画への位置付けは。

答 政策部長 現在整備が進められている厚木北公民館に次いで築年数が経過しており、次の整

備対象としての優先度が高いと認識している。位置付けについては、次期総合計画の策定を進める中で、庁内の関係部署と連携を図り検討していく。

問 市道金田妻田線道路改良事業の車道部分の計画幅員は7mだが、鮎津橋の道路幅員は4・3mである。架け替えについての考えは。

答 道路部長 鮎津橋がボトルネックとなることは避けられない。架け替えを、(仮称)あつぎの道づくり計画に位置付

広報広聴 特別委員会から

厚木市議会では、市民の皆さまに開かれた議会、より身近な議会を目指して、これまで議会報告会の開催を重ねてきました。参加者の皆さまからお聞かせいただいた意見や要望は、一般質問などを通じて市政に反映されています。また、現在発行している「あつぎ市議会だより」については、より分かりやすく正確な情報を発信できるよう、

内容や編集方法などについて、検討を重ねています。

議会でのような議論が交わされているのは、議場などでの傍聴のほか、インターネットでの生中継や録画放映で視聴することができ

ます。各議員や行政の考え方、取り組み姿勢などは、議論を通して感じ取っていただくことができると思

います。

ける必要があると考え

問 将来、鮎津橋を架け替える場合、それに合わせて国道246号妻田交差点から鮎津橋までの道路整備をする考えは。

答 道路部長 (仮称)あつぎの道づくり計画に位置付け、地元関係者と調整を図り、道路整備を推進していきたい。

問 本市のがん対策の現状と今後の方向性は。

答 市長 各種がん検診の実施や受診率の向上に取り組んでいる。今後

も、がんとともに安心して暮らせるまちを目指し、医療機関などと連携を図り、がん患者とその家族への支援ができるよう調査研究をしていく。

ホームページの議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報がご覧いただけます。

- ◆インターネット議会中継
本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録(本会議・常任委員会など)委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他
議員名簿、議会質問通告一覧、子どもページ、議長交際費など。

厚木市議会 検索



尼寺原工業地域交通アクセス整備事業の取り組み状況は

公明党 寺岡 まゆみ議員

問 道路交通渋滞の経済損失は全国で年間12兆円と言われ、厚木市に当てはめてもかなりの損失があると考えられる。本市の重要課題である水引交差点につながる市道の渋滞解消のため、第8次厚木市道路整備3箇年計画において、新たな交通アクセスのルートを整備する旨を重点プロジェクトの一つに掲げているが、取り組み状況は。

答 市長 平成30年度は、概略設計委託において、基礎調査や道路線形について検討している。●生活道路および通学路の安全対策

問 国土交通省のビッグデータを活用した交通安全対策とは。

答 井植理事 課題のあるエリアを申請し、登録する国土交通省の国道事務所が危険箇所を洗い出し、地元警察や自治会などと連携し、効果的な交通安全対策を進める取り組みで、具体的な整備は国の交付金の対象で

厚木市立病院の施設基準取得の取り組みは

公明党 田上 祥子議員

問 厚木市立病院は健全な病院経営を基本方針の一つとしている。今後、経営の安定に向けさまざまな取り組みが必要になる中で、収益の確保のため、現在取得している施設基準のほか、新たな施設基準の取得を目指すべきではないか。

答 病院事業局長 医療の質の確保、向上を図る点で、非常に重要であると考えている。総合入院体制加算、包括医療費

問 全庁的に取り組み自治会や企業などへの理解促進が必要と思うが、今後どのような働きかけをしていくのか。

答 政策部長 次期総合計画の策定に当たり、住民ワークショップの開催など、市民協働による

地域コミュニティ交通の実証実験による課題は

あつぎみらい 渡辺 貞雄議員

問 結果を受け、課題と今後の進め方は。

答 市長 今回の実証実験では、採算性、運行方法、地域の移動ニーズの3つの項目について課題を整理し、検証した。これらの結果を踏まえ、平成31年度も引き続き実証実験を実施していく。

問 需要予測は。

答 まちづくり計画部長 検証項目の中に移動ニーズがあり、その中でさらに検証していく。

問 デマンド交通導入の考えは。

答 まちづくり計画部長 今回の実証実験でも提案したが、高齢者の多い地域であることから、電話での予約の煩わしさや定時定路線の方が出しやすいなどの意見もあり見送った。今後、地域の特性を捉えた上での検討も必要と考える。

外国人労働者への支援の取り組みは

新政あつぎ 新川 勉議員

問 出入国管理及び難民認定法が改正され、本年4月より施行されるが、外国人労働者が増えることと本市へのメリットは。

答 産業振興部長 人出不足の業種での解消が期待される。また、このような外国人が数年後に帰国した際に、厚木市でこんな良い思い出があるというのを広めていたければ、国際的なシティセールスにもつながる。

問 地域で生活する外国人を含めた地域コミュニティの在り方は。

答 協働安全部長 厚



平成30年11月・12月に実証実験が行われた「厚木市地域コミュニティ交通」

外国籍市民へのサービス向上について対応は

公明党 山崎 由枝議員

問 本市には多くの外国人が在留しており、市民サービスの多言語対応などが必要とされている。各窓口での外国籍市民への対応の現状は。

答 市長 市民課窓口で通訳サポートサービスを提供するほか、平成30年5月から119番通報時の多言語通訳を開始するなど、多言語に対応した行政サービスの提供に努めている。

問 多言語で翻訳、対応ができる端末や、超小型音声翻訳機を導入する考えは。

答 市長 外国人に对应した相談体制拡充のため、国が進めている外国人受入環境整備交付金制度を活用し、音声翻訳機の導入などに向けた補助金を国に申請している。

中心市街地活性化の全体像・将来像を示す考えは

新政あつぎ 高橋 知己議員

問 中町第2-12地区への新庁舎の整備について、市長選挙を経た上で浸透や理解に関する認識と今後の対応は。

答 市長 2万あまりの票が庁舎建設や中町第2-12地区への移転の反対票であったが判断しかねるが、今後、複合施設などの基本計画の策定に当たって

問 市民の関心事は、中心市街地の活性化や、にぎわいだと思われている。実現のための全体像、将来像を示す考えはあるか。

答 市街地整備担当部長 アミューあつぎ、本厚木駅南口の再開発、中町第2-12地区の複合施設、本厚木駅北口広場の整備などを通じ、多くの市民に足を運ぶ機会を捉え、回遊性を高め、にぎわいを創出することで、実現につながるのではないかと考えている。

市内事業者への発注状況は

新政あつぎ 井上 武議員

問 工事や物品など、全ての案件を市内事業者が発注することはできないのか。

答 総務部長 例えは工事の場合、市内に施工可能な事業者がほとんどいない特殊工事などは、市外事業者に入札参加の機会を広げている。また、物品購入では、その仕様など市内事業者では調達できない物品や、競争性が確保できないときに、市外事業者の参加を図っている。

問 市内事業者の受注機会拡大のため、どのような対策を講じているか。

答 総務部長 工事の場合、原則市内に本店があることを地域要件としており、特別共同企業体においても市内事業者の参加に配慮している。また、物品購入や一般委託についても、可能な限り市内事業者の受注機会の拡大を図られるよう、入札を執行している。

本市職員の雇用状況・勤務状況の現状と課題は

あつぎみらい 松田 則康議員

問 メンタル面での長期療養休暇の取得者数と、近隣の20万都市との比較は。

答 市長 平成29年度では、一週間以上のメンタル面での療養休暇者は24人で、近隣の20万都市もおおむね同様である。

問 職員数、臨時職員、再任用職員の人数は。

答 市長 30年4月1日現在で、市立病院以外の職員は1524人、再任用職員は81人、臨時職

本市における農業の現状と課題は

新政あつぎ 石井 芳隆議員

問 水田耕作の現状と課題は。

答 市長 都市化の進行により、区画が狭小および不整形になったり、水路などが老朽化するなど、営農環境が良好でない水田もある。また、農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作されない水田の増加が懸念されている。こうしたことから、水路と農道の整備、区画の拡大や水田の集約化など、農業従事者が営

問 都市化の進行により、区画が狭小および不整形になったり、水路などが老朽化するなど、営農環境が良好でない水田もある。また、農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作されない水田の増加が懸念されている。こうしたことから、水路と農道の整備、区画の拡大や水田の集約化など、農業従事者が営

警察署跡地や合同庁舎を含めた市街地全体で示すことが必要と考えるが見解は。

答 市街地整備担当部長 指摘のとおり、全体の回遊性やまちを今後どうしていくかは重要である。策定中の複合施設などの基本計画の中で、お示しできると思っている。

教職員の多忙化解消に向けた取り組みは

新政あつぎ 新井 啓司議員

問 学校における働き方改革の取り組みは。

答 教育長 子どもたちにとって最大の教育環境は先生であり、児童生徒一人一人と向き合う時間の確保が何よりも大切であると認識している。平成31年度は、新たに教職員出退勤管理システムおよび学校電話音声応答装置を導入するとともに、スクールアシスタント事業の拡大などを実施し、引き続き、教職員の多忙

化解消と働き方改革に取り組んでいく。

●共働きでしやすいまち

問 放課後児童クラブの待機を解消する対策は。

答 ことも未来部長 課題である場所と人材の確保ができる新たな手法として、31年度は、清水・妻田小学校の放課後児童クラブを開所する事業者を公募し、事業実施する事業者に対して補助金を交付するなどの取り組みを

本市における農業の現状と課題は

新政あつぎ 石井 芳隆議員

問 水田耕作の現状と課題は。

答 市長 都市化の進行により、区画が狭小および不整形になったり、水路などが老朽化するなど、営農環境が良好でない水田もある。また、農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作されない水田の増加が懸念されている。こうしたことから、水路と農道の整備、区画の拡大や水田の集約化など、農業従事者が営

警察署跡地や合同庁舎を含めた市街地全体で示すことが必要と考えるが見解は。

答 市街地整備担当部長 指摘のとおり、全体の回遊性やまちを今後どうしていくかは重要である。策定中の複合施設などの基本計画の中で、お示しできると思っている。

●子育て支援

問 民間認可保育所の運営に関する課題は。

答 市長 安定的で安全な運営を確保するため、国の給付費に上乘せし、

新庁舎建設に関して住民投票を実施する考えは

あつぎの会 名切 文梨議員

問 新庁舎整備について、市民の意見を集約してきたとのことだが、建設場所に対する意見のうち、中町第2-12地区が良いと意思表示されたのは29件である。市民の声を丁寧に取り入れるためにも、住民投票をしてはどうか。

答 市長 住民投票を実施する考えはない。

●自治基本条例の解釈

問 第23条では、市民、議員、市長、市職員に条例などの順守を義務付けているが、一方で、第24条では、議会と市長などにのみ、条例などを自主的に解釈することを認めている。このため、市長は多選自派条例を自主的に解釈されたが、条文を改正し、自主的に解釈できるのは法令と県の条例

問 パワハラ、セクハラなどの実態と解決策、防止策は。

答 市長 ハラスメントに関する基本方針および要綱に基づき、相談体制を整備し、実態把握に努めている。相談を受けた場合、状況を確実に把握し、必要により初期の段階で指導や注意を行い、風通しの良い動きやすい職場への改善を図っている。また、職員研修を実施し、予防や意識啓発に努めている。

答 総務部長 パワハラなどについては、市の厳正な処分も行っている。

放課後児童クラブ

問 厚木第二小学校の校庭の中に放課後児童クラブが建設されるが、その分、校庭が狭くなる。運動会などで昼食を取る場所として、放課後児童クラブの建物の開放を検討できないか。

答 ことも未来部長 放課後児童クラブの部屋を開放することで進めていきたい。また、地域の運動会や防災訓練などで校庭を使う際にも、部屋やトイレを利用していたり、地域の方に還元したいと考えている。

政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。次のことは違反になります。

- ◆落成式・開店祝、葬式などの花輪・供花
- ◆入学祝・卒業祝、お中元やお歳暮、病氣見舞い
- ◆地域のお祭りへの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆秘書などが代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典
- ◆町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ



厚木市立病院の施設基準取得の取り組みは

公明党 田上 祥子議員

問 厚木市立病院は健全な病院経営を基本方針の一つとしている。今後、経営の安定に向けさまざまな取り組みが必要になる中で、収益の確保のため、現在取得している施設基準のほか、新たな施設基準の取得を目指すべきではないか。

答 病院事業局長 医療の質の確保、向上を図る点で、非常に重要であると考えている。総合入院体制加算、包括医療費

問 全庁的に取り組み自治会や企業などへの理解促進が必要と思うが、今後どのような働きかけをしていくのか。

答 政策部長 次期総合計画の策定に当たり、住民ワークショップの開催など、市民協働による

問 結果を受け、課題と今後の進め方は。

答 市長 今回の実証実験では、採算性、運行方法、地域の移動ニーズの3つの項目について課題を整理し、検証した。これらの結果を踏まえ、平成31年度も引き続き実証実験を実施していく。

問 需要予測は。

答 まちづくり計画部長 検証項目の中に移動ニーズがあり、その中でさらに検証していく。

問 デマンド交通導入の考えは。

答 まちづくり計画部長 今回の実証実験でも提案したが、高齢者の多い地域であることから、電話での予約の煩わしさや定時定路線の方が出しやすいなどの意見もあり見送った。今後、地域の特性を捉えた上での検討も必要と考える。

問 出入国管理及び難民認定法が改正され、本年4月より施行されるが、外国人労働者が増えることと本市へのメリットは。

答 産業振興部長 人出不足の業種での解消が期待される。また、このような外国人が数年後に帰国した際に、厚木市でこんな良い思い出があるというのを広めていたければ、国際的なシティセールスにもつながる。

問 地域で生活する外国人を含めた地域コミュニティの在り方は。

答 協働安全部長 厚

問 整備に長い期間と困難が予想される。そ

問 国連広報センターが発行しているガイドブックの活用は。

答 政策部長 市民への周知に当たって活用を検討していきたい。

問 自分自身の防災計画である「マイ・タイムライン」をシートにしようとしているが、平成31年度に作成する防災ポケットブックの中に組み込んでいくのか。

答 市長 市長「マイ・タイムライン」として、災害時の行動のとり方を記入するページを設けたい。

問 公助、行政として最も行わなくてはならないことと思っ

問 特定健康診査

問 受診率向上の課題

答 市長 これまでも未受診者への通知や電話による個別の受診勧奨など、公民館まつりでの啓発などにも取り組んでおり、えの気持ちの広がりを平時にお願いすることが、

問 力点はどこか。

答 市長 職員だけでは、大災害に対応できない。自助、共助の大切さ、市民一人一人の備えの気持ちの広がりを平時にお願いすることが、

問 市街地整備担当部長

委員会の審査①

総務企画

条例・補正予算など

—主な質疑と答弁—

条例の制定・改正、平成30年度補正予算などの議案について、各委員会で
の主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第8号)

【所管科目】

問 職員給与費増は普通退職者とのことだが、人数は。

答 15人である。早期退職者は7人で合計22人である。定年退職者の28人と合わせると、全体の退職者は50人である。

問 ふるさと納税は、なぜ増えたのか。

答 寄付を受け付ける電化製品専門のサイトを一つ増やした。また、所得がある方が寄付をしていることや、ふるさと納税制度の改正で返礼品に関する部分が変わることもあるのかと思う。

○厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例及び厚木市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について【所管科目】

問 減額措置が始まったのはいつか。また、その理由は。

答 平成21年4月1日から行われている。理由は財政状況で、主にリーマンショックによるものと認識している。

○厚木市消防団員の定員任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

問 出動が4時間以上になるケースは少ないが、どのように決めたのか。

答 時間で区切って費用弁償を引き上げている都市が県内でもあり、国からも消防団の処遇改善の取り組みを積極的に行うよう助言があったため、消防団の幹部と協議した結果、4時間以上を引き上げることとした。

問 3400円を3500円や3600円にし、広く多くの消防団員に還元する検討をしたのか。

答 費用弁償額については、消防団幹部と協議を重ねた結果、現状の金額をベースとして引き上げることで決定した。

市民福祉

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第8号)

【所管科目】

問 定期予防接種事業費は、風疹の予防接種のことであるが、対象者が大人であるにもかかわらず事業名に子どもとあるのはなぜか。また、対象者がどのくらい分かるか。

答 現時点での軽減世帯を基にすると、2割軽減世帯は3716世帯から3797世帯となる。5割軽減の世帯は、3517世帯から3595世帯となる。

問 「勤務し、又は通学する者」なので、居住を問わないということだと思ふ。実際に市外から大学に通われている人は可能なのか。

答 現在、市内在住の大学生で入団者がいる。消防団員の確保という観点で入団要件を拡大するが、市外在住の通学者が消防団に入りたい場合には、消防団活動などをしっかりと理解していただく。災害出動の場合、遠くだと無理があるため、居住場所も近隣を考慮し、分団長などの面接において確認し、入団を決めていきたいと思っている。

問 定期予防接種のA類に属されたことから、子どもの予防接種に入っている。対象者については、予防接種の機会がなかった39歳から56歳までの男性で、人数は3万1737人を予定している。

問 抗体検査を受けて、抗体がないと分かった人に対して予防接種をすることになるが、周知方法は。また、本人の負担額は。

答 周知はホームページで行っており、準備が整ったところで、再度のお知らせと併せて通知を出すようにする。また、本人負担額については、自己負担はないことと予定している。

○厚木市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

問 どのくらいの世帯が減額となるのか。

答 現時点での軽減世帯を基にすると、2割軽減世帯は3716世帯から3797世帯となる。5割軽減の世帯は、3517世帯から3595世帯となる。

環境教育

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第8号)

【所管科目】

問 水産業強化支援事業負担金は、入札不調により繰越明許されるが詳細は。

答 神奈川県内水面漁業協同組合連合会が、アユの中間育成施設整備工事の競争入札を行ったところ、2回にわたり不調となり、平成30年度中の工事完了が困難になったものである。

問 産地パワーアップ事業費補助金は、当初予算6千万円ほどに対し、4千万円以上を減額しているが、減額の理由は。

答 イチゴ農家が低コスト耐候性ハウスや、高

設計培設備を建設する計画であったが、事業参画を断念する農家が1軒生じたことや、低コスト耐候性ハウスを通常のハウスに変更したこと。また、入札差金などもあり、減額となったものである。

問 和田傳文学基金積立金について、増額の内訳は。また、増額で基金はどのくらいになるか。

答 和田家の皆さまから500万円の寄付をいただいたもので、今回の寄付を含め、平成31年3月末の段階で649万7千円を見込んでいます。今回、寄付をいただいたことで、和田傳文学基金事業を今後8年ぐらいつながられる見込みである。

○厚木市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について

問 厚木市学校給食センターPFI事業者選定委員会の委員を5人以内とした根拠と人選は。

答 建設、給食、PFI手法のそれぞれの学識経験者と、所管の市職員2人を選出する。先進市において5人としており、本市も同様の5人とした。

問 開催スケジュールと決定時期は。

答 本年4月から2020年にかけて、5回を予定している。業者決定については、2020年9月定例会議で承認いただくことを考えている。

都市経済

○厚木市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例について

問 生産緑地地区の区域の規模は、これまで全国一律500平方メートルとされていたものを生産緑地法および生産緑地法施行令の一部改正により、市町村が条例で定めることができるようになったことだが、今回の面積の下限を300平方メートルにした理由と下げることによる影響は。

答 理由としては、1つ目に小規模農地の機能を活用できること。2つ目に道連れ廃止の防止ができること。3つ目に都市計画運用指針では、300平方メートルという規模が身近な避難地として防災機能の発揮を期待されていること。4つ目に都市緑地法においても、市民緑地の規模を300平方メートル以上と規定していること。5つ目に既に条例を制定している全ての都市で、300平方メートル以上と指定していることなどが挙げられる。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第9号)

【所管科目】 および平成31年度厚木市一般会計補正予算(第1号) 【所管科目】

問 プレミアム付商品券事業は、どのくらい効果があるか。

答 本事業の対象者は、住民税非課税対象者および3歳未満児の世帯主の方で、対象者数は合計で4万3千人を推定している。最大2万5千円分の商品券を2万円で購入する構成で、本市全体では10億7500万円と見込んでおり、本市の商業振興につながるものと期待している。

問 商品券は全国で使えるのか。

答 厚木市で発行する商品券は、厚木市に販売登録をした市内の小売店のみで使える。

問 商品券の販売時期および利用時期は。また、対象者への周知方法は。

答 商品券の購入可能期間は市町村で定めるが、国の資料案では本年10月から2020年2月ごろまでと例示している。使用期間については、国の実施要領案では本年10月1日から2020年3月31日までの間で市町村が定めるとされている。国の情報がまだ確定していない状態であり、引き続き情報収集しながら、確定していく。また、対象者への周知方法については検討中であるが、引換券の郵送の際に案内チラシを同封するなどを考えている。今回のプレミアム付商品券事業については、国が広報を行うが、市ホームページや広報あつぎなどでスケジュールなど、対象者が必要とする情報をお知らせすることを考えている。

友好都市の訪問

市議会では、友好都市の北海道網走市と秋田県横手市に訪問団を派遣し、友好交流を図りました。主な内容は次のとおりです。

◆厚木市議会網走市訪問団

2月8日～10日、網走市議会議長表敬訪問、網走市長表敬訪問など。

◆厚木市議会横手市訪問団

2月15・16日、横手市議会議長表敬訪問など。



委員会の審査②

新年度予算関係

—主な質疑と答弁—

一般会計・特別会計など、平成31年度予算の議案について、各常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○一般会計予算(所管科目)

問 デジタルサイネージを愛甲石田駅に設置することだが、何台設置するのか。また、設置完了はいつか。

答 愛甲石田駅に2台設置する。5月から設置を行い、7月1日運用開始を目指す。

問 防災ポケットブック作成事業および地区別防災マップ作成事業について、説明方法と配布時期は。

答 5月から各地区を回り説明する。各地区に浸透ができた段階で、防災ポケットブックを全戸配布する考えである。

問 防災ポケットブックの大きさは、また、ホームページに掲載して、スマートフォンで見られるのか。

答 東京防災と同様に20センチ以下のものを検討している。ポケットに入るといいうのではなく、簡

市民福祉

○一般会計予算(所管科目)

問 看護職等人材確保支援事業費について、平成30年度と比較し、看護職・歯科衛生士転入奨励助成金が増えていると思うが、なぜか。

答 30年度の転入奨励助成金は15件の申請を見込んでいたが、実際には49件の申請があったため、新規51件と30年度からの継続者9件の合計60件分の申請を見込んだ。

問 保育士応援手当助成金について、本人に助成するものと保育園に助成するものがあるのか。

答 保育士応援手当助成金については、保育園を通して、直接保育士に出すものである。保育士雇用サポート事業補助金については、保育士の確保に係る経費を保育園に補助する。

○後期高齢者医療事業特別会計予算
問 滞納繰越分が増えているように思われるが、事情は把握しているのか。

答 滞納の要因としては、被保険者数の増加、また、後期高齢者医療保険は、加入後すぐには年金から引かれないことによる納付書での納め忘れなどが理由である。督促状送付後、コールセンターによる催告や催告書の送付により、滞納整理を行っている。

の再構築をする。

○介護保険事業特別会計

問 介護予防・生活支援サービス事業費が前年に比べて減っているが、理由は。

答 30年度の訪問型・通所型サービスの実績による見直しに伴い減額した。

環境教育

○一般会計予算(所管科目)

問 ごみ減量化・資源化推進事業について、モデル地区での戸別収集が試行されるが、住民説明会での意見は。

答 主な意見としては、カラスやネコなどの動物被害から守るため、各家庭で用意していただくポリバケツやネットへの支援。また、敷地内に排出場所が確保できない場合の対応。さらには、従前のごみ集積所への不法投棄への対応や、経費増大に伴う有料化に関し質問をいただいた。

問 小中学校の屋外AED設置事業について、専用ボックスの形状は。また、持ち出されてしまわないかとの懸念があるが、それに対する対応は。

答 基本的には体育館の外側やグラウンド側に設置を検討しており、設置場所に合わせてボックスを検討している。また、盗難や破損などについては、保険の適用を検討しているが、他市の状況も調べながら見極めたい。

問 公民館維持補修事業について、照明をLEDに交換していくと聞いているが詳細は。

答 平成31年度は、水銀灯を使用する公民館3館の体育室などを交換する。残りは7館あり、今後計画的に進めていきたい。

問 (仮称)渡辺華山展プロジェクト事業について、ハーバード大学美術館所蔵の厚木六勝を借用とのことだが、展示期間の想定は。

答 3カ月ほどの展示期間が取れればと考えているが、本市の希望であり、ハーバード大学美術館と調整をしていきたい。

問 ねんりんピック開催準備事業の内訳は。

答 31年度の和歌山県のねんりんピックの視察旅費と会議の開催経費を計上している。

問 厚木市は2種目と決まったのか。

答 ラグビーフットボールと健康マージャンを開催予定である。ラグビーフットボールについては、海老名市との共催になる。

問 学校水泳プール開放について、31年度は30年度に比べ減額となっているが、見直した点はあるか。

答 30年度は各学校10日の開放日をみていたが、31年度は5日から7日の開放日で実施を考えている。

都市経済

○一般会計予算(所管科目)

問 観光宣伝事業費の内容は。

答 広域観光として宮ヶ瀬および大山エリアから、飯山および七沢地区への誘客を狙い、温泉のパンフレットを作成、配付し誘客を図ることや、厚木大山ハイカーズガイドのリニューアル、友好都市である沖縄県糸満市で行われる物産フェアへの出店などを計画している。

問 本厚木駅ホームドア設置事業補助金について、平成31年度だけの補助か。また、今後、愛甲石田駅への計画は。

答 当該工事業業は、本厚木駅において鉄道事業者が行うホームドア設置に要する費用の一部を補助するもので、国、鉄道事業者、地方公共団体が三位一体で取り組むことから、本市は6分の1を補助する。31年度から5年間かけてホームドアを設置する予定で、5年間で約19億円かかると聞いている。なお、乗降客数が10万人以上の駅に設置するとしているため、愛甲石田駅は設置対象とならない。

問 本厚木駅南口地区市街地再開発事業の進捗状況および今後の予定は。

答 本厚木駅南口広場および再開発ビルは、2020年度のオープンに向けて順調に進めている。31年度、駅前広場については歩行者デッキへのエレベーター、エスカレーター、階段などの昇降施設の工事、歩道に設置する屋根の工事、歩道の舗装工事、路面の排水工事などを行い、出来高としては全体の約54%を見込んでいる。

問 本厚木駅北口周辺整備事業費の内容は。

答 本厚木駅北口周辺地区において、民間ビルの建て替えなどの機運が高まっていることから、北口広場を含めた市街地再開発事業などについて、関係権利者との意見交換や勉強会などを行い、整備の手法を検討していく。

平成31年度会計別予算

平成31年度会計別予算 (単位:千円)					
会計区分	平成31年度当初予算	平成30年度当初予算	比較増減	対前年度比(%)	
一般会計	86,300,000	86,200,000	100,000	100.1	
特別会計	公共用地取得事業	1,419,002	1,159,871	259,131	122.3
	本 来 分	178,752	164,871	13,881	108.4
	用地国債分	1,240,250	995,000	245,250	124.6
	後期高齢者医療事業	2,816,000	2,746,000	70,000	102.5
	国民健康保険事業	22,655,000	23,908,000	△1,253,000	94.8
	介護保険事業	14,598,000	13,656,000	942,000	106.9
	公共下水道事業	5,988,000	6,949,000	△961,000	86.2
	小 計	47,476,002	48,418,871	△942,869	98.1
	公営企業会計	12,807,682	12,609,265	198,417	101.6
	病院事業				
合 計	146,583,684	147,228,136	△644,452	99.6	

※病院事業会計は支出予定額です。

本会議の審議結果

第1回会議(2月定例会議)提出案件		各会派の賛否 ○…賛成、●…反対、—…欠席						議決結果
		みらい	新政	公明党	あつぎ	共産党	無会派	
議案第1・2号	市道路線の廃止及び認定について(2件)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第3~12号	市道路線の認定について(10件)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第13号	市道路線の廃止について	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第14号	平成30年度厚木市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第15号	平成30年度厚木市公共用地取得事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第16号	平成30年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第17号	平成30年度厚木市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第18号	平成30年度厚木市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第19号	平成30年度厚木市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第20号	平成30年度厚木市病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第21号	厚木市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例について	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第22号	厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例及び厚木市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第23号	厚木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第24号	厚木市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第25号	厚木市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第26号	厚木市建築基準条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第27号	厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第28号	平成31年度厚木市一般会計予算	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第29号	平成31年度厚木市公共用地取得事業特別会計予算	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第30号	平成31年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第31号	平成31年度厚木市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第32号	平成31年度厚木市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第33号	平成31年度厚木市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第34号	平成31年度厚木市病院事業会計予算	○	○	○	○—	○	○	可決
議案第35号	公平委員会委員の選任について	○	○	○	○—	○	○	同意
議案第36号	平成30年度厚木市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第37号	平成31年度厚木市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○—	●	○	可決
議案第38号	副市長の選任について	○	○	○	○—	○	○	同意
議案第39号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○—	○	○	同意
議案第40号	監査委員の選任について	○	○	○	○—	○	○	同意
議員提出議案第1号	厚木市議会基本条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○—	○	○	可決

◎平成31年3月26日議決時の会派構成など
 ※議長…難波達哉(議長は採決に加わりません)、副議長…遠藤浩一
 ※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員(—は代表者)
 みらい…あつぎみらい(9): 袖子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ(6): 石井芳隆、井上武、高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司 公明党…公明党(5): 山口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 あつぎ…あつぎの会(5): 奈良握(欠席)、望月真実、名切文梨(議案第20・28・34号反対)、山本智子、井上敏夫 共産党…日本共産党厚木市議員団(2): 釘丸久子、栗山香代子 無会派…無会派(1): 高田浩

議会基本条例の一部を改正

厚木市議会では、平成31年第1回会議(2月定例会議)の最終日に「厚木市議会基本条例の一部を改正する条例について」を可決し、議会基本条例の一部を改正しました。

主な改正点は、本会議および委員会において、論点が明確化され議論が深まることを期待し、質問した議員に対して市長などが問い返す行為であります「反問」を認めることとしました。

改正の経過

今回の改正に向けては、議会基本条例第27条の規定に基づき、本条例が目的に沿った運用がなされているかを検証するため、平成29年11月に厚木市議会評価検証委員会を設置しました。

そして、全議員が全ての条・項に対し、達成状況の評価などを行い、その後、厚木市議会評価検証委員会で全議員の評価結果を詳細にわたり検証し、議会基本条例の一部を改正する必要があると判断したものです。

また、改正に当たっては、意見交換会やパブリックコメントを実施し、市民の皆さまの意見を伺った上で、条例改正に至ったものです。

第2回会議(6月定例会議)の開催予定

- 本会議
 - 5月24日(金) ……議案等質疑
 - 5月30日(木)・31日(金)・6月3日(月) ……一般質問
 - 6月17日(月) ……委員長報告・討論・採決

- 常任委員会
 - 総務企画 …… 6月 5日(水)
 - 市民福祉 …… 6月 6日(木)
 - 環境教育 …… 6月 7日(金)
 - 都市経済 …… 6月10日(月)

- ◆特別委員会(本会議など終了後)
 - 広報広聴特別委員会 …… 6月17日(月)

会議は、原則として午前9時に開きます。
 傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。